

工事の げんば 現場より

今はこんな様子だよ。

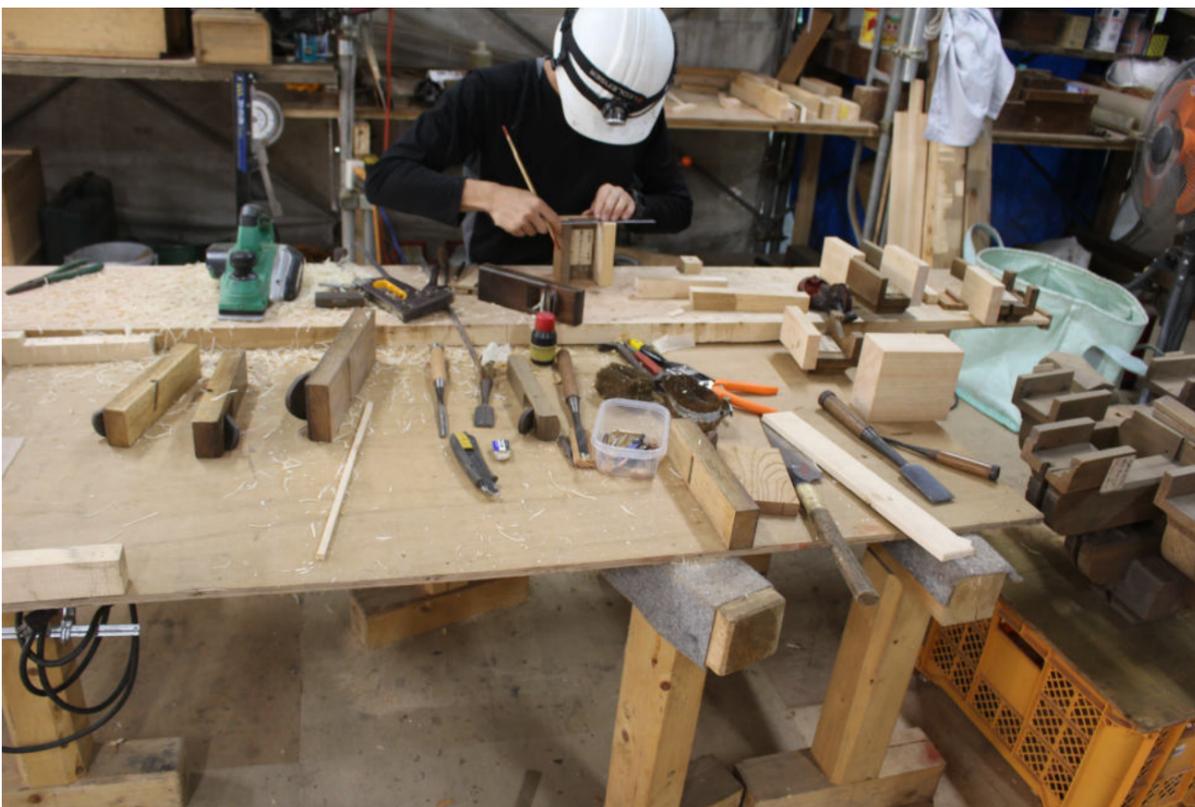


10月4週目

延々・黙々と行われている矧木・埋木作業、一見地味ですが重要な仕事です。部材は傷んでいると力を担えず、また他の健全な材に悪影響を及ぼす可能性があるため、取替を行う必要があります。その際には傷みが著しいところだけを取り除き、健全な部分には手を加えず残して後世に伝えていきます。古材は存在するだけで価値があります。今はまだ分からなくても、将来古材から何らかの痕跡や証拠が見つかるかもしれないからです。明治時代も古材を尊重した移築が行われていたため、今回の修理に際して行われた調査によって新たな知見を得ることが出来たのです。



▲▶ 木負・茅負の矧木・埋木作業。傷んだ部分だけを丁寧に取り除き、適切に形を合わせた新材に改めています。



▲▶ 斗拱の矧木・埋木作業。傷み具合に応じた補修作業を行っており、場合によっては全体取り替えるもの（=新材加工）もあります。多数ある斗拱をひたすら、黙々と繕う作業。根気、丁寧さ、集中力が求められます。

